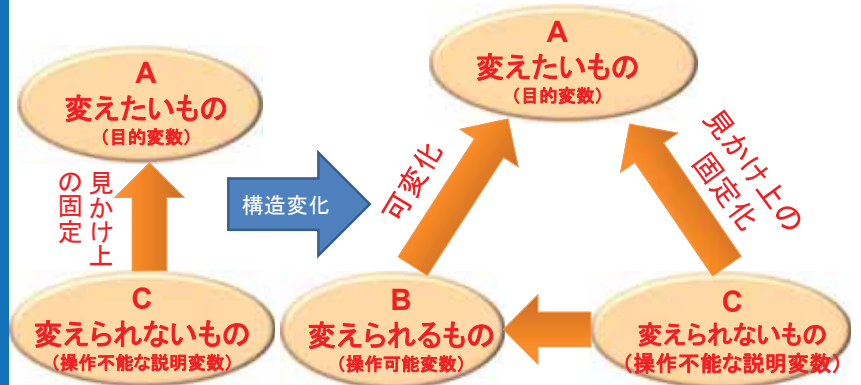


スポーク外傷のアニメーション



「変えられる化」

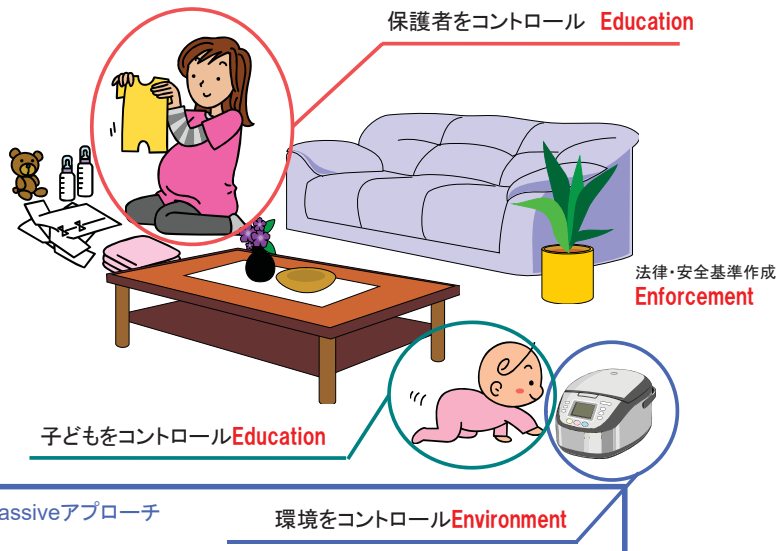
変えたいもの、変えられるもの、変えられないものを見極め、
変えられるもので、変えたいものを変える。



「(変えたいものが)
変えられない」構造

「変えられる」構造

事故予防のために何を変えるか？(3E)



キッズデザイン製品開発支援事業 共創PJ(ブリジストン) 脚の到達範囲の計測 (197人 1~9歳)

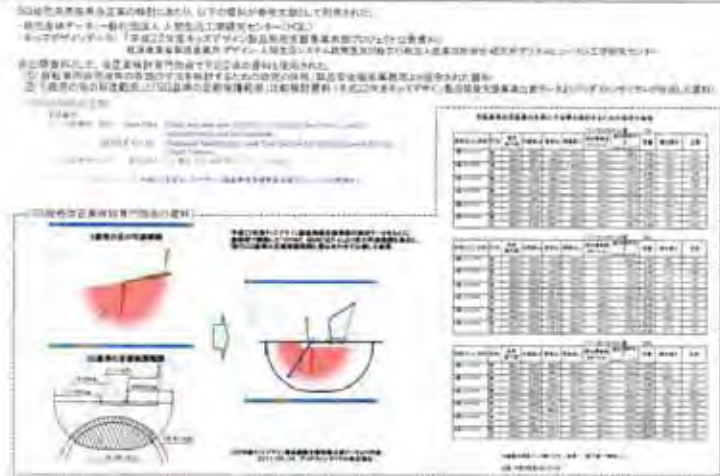


子どもは、発達に伴い、脚の長さが大きく変化し、足の到達範囲も大きく変化する。

<知見>
7歳~9歳では足の到達範囲が広い。
*1 平成22 キッズデザイン製品開発支援事業報告書

<必要なアクション>
データに基づいて子どものスポーク外傷を起こさないデザインの工夫(メーカ)
後部座席を使用する(保護者)

(財)製品安全協会 自転車の幼児座席の基準
「自転車用幼児座席の認定基準及び基準確認方法」
2011年11月16日改訂



Artificial Intelligence Research Center

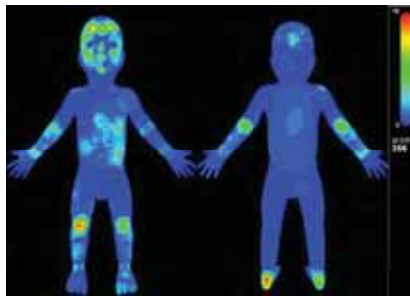


社会に眠ったビッグデータを
活用した傷害予防②

東京消防庁ビッグデータ

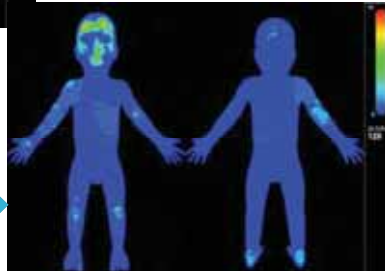
Artificial Intelligence Research Center

データに基づく予防効果のインパクト評価



安全基準改訂前

受傷確率が55.3%低下



安全基準改訂後

Artificial Intelligence Research Center

歯ブラシによる刺傷事故
創造的デザイン事例

刺傷



日本小児科学会 Injury Alert

Artificial Intelligence Research Center